

井上学県政レポート

令和6年 春号
発行:自由民主党
富山県議会議員会



令和6年度のスタートです。まずは、元日に発生しました「令和6年能登半島地震」により、お亡くなりになられた皆様のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げます。

また、地震発生直後より、県内の被害状況の確認や被災地への支援に、迅速に対応していただいております、各自治体や関係機関の皆様にご心より敬意を表し感謝申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、対面での行事が数多く再開されるとともに、観光客がコロナ禍前の水準近くまで回復するなど、賑わいを取り戻した一年であります。その一方で、不安定な国際情勢と円安を背景に、原材料価格や物価の高騰が続き、県民の暮らしや企業活動は大きな影響を受けた一年でもありました。また、今回の地震発生を踏まえ、改めて、防災意識の向上や災害時の対応の確認など、災害に対する日頃の備えを万全にしていかなければならないと実感をしたところであります。

被災地の一日も早い復旧・復興に向け、県議会としても引き続き、できる限りの支援をしてみたいと思います。

さて、2月定例会最終日に、議員各位のご推挙により第126代の富山県議会副議長に選任頂きました。身に余る光栄であり、心から御礼を申し上げます。

議長のご補佐役として、県民の皆様の負託に応えることができるよう、微力ではございますが、誠心誠意努力する所存です。皆様には、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和6年4月 井上 学

令和6年2月定例会 一般質問

問1 令和6年能登半島地震に関連して

(1) 今回の能登半島地震における本県の初動対応や情報把握をどのように評価し、万全の初動体制の確立に向けてどのように対応していくのか。

ポイント!

自治体で防災・災害対応に携わる職員を対象に実施した民間調査では、初動対応に最も大きな課題を感じていることが分かったほか、発災時の正確な情報の把握が困難であることも指摘されている。

答(知事)

今回の地震では、災害対策本部を同時刻(16時10分)に速やかに設置した。約9割以上の843名の職員が本庁と出先機関に参集し、初動対応に当たった。



避難所運営の人員不足が見込まれた氷見市への応援職員を県内市町村と調整し、翌2日から派遣を実施するなど、迅速な初動対応を行うことが出来た。

また一方で、「職員の安否確認に時間がかかった」との反省や「被害状況の迅速かつ正確な把握のため、県職員の市町村への派遣のあり方を検討すべき」といった意見が出された。

今回の地震の経験を、今後の災害対応力の強化につなげるため、早期に検証を進め、来年度中には各種計画・マニュアル等の改定に反映するなど、万全な初動体制の確立に取り組んでまいります。

(2) 県では、令和3年度から「SNS緊急警戒情報配信サービス」を導入しているが、今回の地震にあたり、どのように活用され、どのような効果や課題があったのか。

ポイント!

災害時には情報の速報性、正確性、網羅性を高めることが重要であるが、AIを活用し、SNSに投稿された最新の情報から被害状況などを即座に解析・確認することで、その効果が期待できる。

答(危機管理局长)

発災直後など市町村からの被害報告がない中でも、このサービスを活用して、県内の建物及び道路被害、断水状況、交通情報等、様々な災害情報をリアルタイムに収集することができた。また、文字情報だけでなく、地図、画像、動画情報も閲覧できるため、県内の被害状況を把握する手段として非常に効果があったと考えている。



一方で、このサービスで得られた情報を県民にどのように発信していくかなど、情報の活用面での課題も見つかったことから、今後、今回の災害対応を検証する中で、集めた情報の有効な活用方策についても研究してまいります。

(3) 災害発生時に円滑かつ迅速な道路啓開を実施するため、「道路啓開計画」の策定を早期に進めるべきと考えるが、今後の方針について問う。

ポイント!

国や太平洋側の県では策定が進められており、今回の被災県である富山、石川、新潟の3県では、計画策定のための協議会も設置されていなかった。

答(土木部長)

東日本大震災の教訓から、地震などによる大規模災害発生時には、緊急通行車両の移動ルートを切り開く「道路啓開」が、救援・救護、救出活動を行う上で必要不可欠なもの



となっている。

北陸地方における大規模災害発生時の道路啓開を迅速かつ円滑に実施するため、「北陸圏域道路啓開計画策定協議会」が設立され、1回目となる会議が2月29日に開催された。

県としては、今般の能登半島地震において道路啓開の重要性を改めて認識したところであり、国や石川・新潟両県など関係機関と連携・協力し、早期に道路啓開計画が策定されるよう協議を進めてまいりたい。

(4) 指定避難所とは別に、住民が自主的な判断で避難する避難所として「準指定避難所」のカテゴリーを設けるなど、今後、「分散避難」への対応を強化していくべきと考えるが、所見を問う。

ポイント!

指定避難所ではなく、近所の公民館や集会所などを自主避難所にして生活する被災者も多く、今後の災害では、指定避難所に帰宅困難者や観光客など想定外の被災者が押し寄せることもありうることから、多様な避難先への対応も考えていかなければならない。

答 (危機管理局長)

「分散避難」については、災害時に避難所だけでなく、自宅や親戚・知人宅等にとどまる「在宅避難」や車中泊、ホテル等宿泊施設の利用した避難所以外の場所に避難する方法であり、今回の震災でも、指定避難所以外に自主的に避難所を開設したり、ホテル・旅館に一時的に避難するなど、「分散避難」が行われていた事例も見受けられた。

今回の地震では、能登地域の広い範囲で多くの方が被災され、長期間の避難生活を余儀なくされる中、石川県では公的施設やホテル・旅館、公営住宅など、多様な避難先を用意し対応されていると承知している。県としても、こうした対応も参考として、今回の災害対応を検証する中で、「分散避難」の対応の強化についても、課題の一つとして市町村と共に研究してまいりたい。

(5) 災害時に避難所における水を確保するため、市町村と連携し、避難所に指定されている学校や施設等において井戸の設置を進めてはどうかと考えるが、所見を問う。

ポイント!

被災地では多くの避難所でトイレを巡る切実な問題が発生した。阪神・淡路大震災を経験した兵庫県は、災害時にトイレで使う水を確保するため、避難所に指定されている全公立小学校に停電時でも使用できる手押し式ポンプの井戸を設置している。

答 (危機管理局長)

県の地域防災計画では、市町村は避難所において避難住民の生活を確保するため、飲料水兼用の耐震性貯水槽や井戸、簡易トイレなど、必要な施設、設備の整備に努めることとし、県は市町村を支援することとされている。

避難所における水の確保やトイレの確保は、まずは避難所の指定や運営を行う市町村において適切に対応されることとなるが、県としては、今回の地震により長期間の断水を経験して、防災井戸の活用の有効性やトイレの必要性を再認識したところ。このため、新年度設置するワンチーム会議のワーキンググループの中で、市町村と共にその設置について検討してまいりたい。

(6) 災害時の職員の宿泊場所を確保するため、県と市町村が連携し、キャンピングカーを準備し、各自自治体で融通してはどうかと考えるが、所見を問う。

ポイント!

今回、珠洲市や輪島市において、全国の自治体から被災地に派遣された応援職員の宿泊場所として、キャンピング

カーが活用され、総務省も被災県が独自に確保した場合の費用の8割を特別交付税で措置する方針を示した。

答 (危機管理局長)

今回の能登半島地震では、特に珠洲市や輪島市などの奥能登地域において、全国から派遣された自治体の応援職員が利用できる宿泊施設がほとんどなく、宿泊場所の確保が課題となっている。

こうしたなか、熊本地震でキャンピングカーが災害対応に有効と感じた熊本市の職員が日本RV協会に相談し、同協会会員企業が所有するキャンピングカー数十台を応援職員の宿泊のために貸与されたと聞いている。

キャンピングカーについては多くのメリットがあり、奥能登地域でも大変重宝されていると伺っている。県としては、今回の災害対応を検証する中で、その導入についても、市町村と共に研究したいと考えている。

問2 有害鳥獣対策について

(1) イノシシなど有害鳥獣による農作物被害について、被害額や捕獲数、今後の取組方針について問う。

ポイント!

有害鳥獣による農作物被害は、農山村に深刻な影響を与えている。耕作放棄などにより里山が荒廃すれば、野生鳥獣の生息域がさらに拡大し、その結果、平野部や都市部にも影響が及ぶことから、有害鳥獣対策は県民全体の問題と捉えていかなければならない。

答 (農林水産部長)

直近5年間でみると、被害額は、令和元年度の約9,800万円から、近年は6,000万円前後で推移し、5年度も前年度同期比で約1,700万円減少している。

捕獲数については、イノシシは元年度の過去最多7,558頭から、2年度は約3,000頭まで落ち込んでいたが、4年度には4,437頭と再び増加傾向にある。一方、ニホンザルは、元年度の394頭から減少し4年度は258頭となっている。

今後の取組の方針としては、これまで地域ぐるみで実践してきた①イノシシを引き寄せない集落環境管理、②侵入防止対策、③効率的な捕獲対策の3つの対策を引き続き推進する。加えて、電気柵等の設置にかかる農村ボランティアを広く募集するなど、多くの方に協力いただけるよう、取り組んでまいりたい。



(2) 国はクマを「指定管理鳥獣」に追加する方針を示しているが、本県にとってどのような意義やメリットがあるのか、また、県として、来年度のクマ対策にどのように取り組んでいくのか。

ポイント!

先月8日、環境省が設置した専門家による検討会において「指定管理鳥獣」に追加する対策が提言され、環境大臣は4月中にも指定する方針を表明した。

答 (生活環境文化部長)

本年度、全国的にクマによる人身被害が多発したことを踏まえ、環境省では指定管理鳥獣に、現行のイノシシとニホンジカに加え、クマ類を追加する手続きを進めている。4月中には追加指定され、国の交付金「指定管理鳥獣捕獲等事業」がクマ被害防止対策にも活用可能となる見込みである。これまでのパトロール、捕獲等の個体数管理や生息環境の整備などが対象となると想定され、指定後はこの交付金の積極的な活用



を期待しているところ。

また、今年度の状況を踏まえ、新年度は、指定管理鳥獣化に対応する、①県のクマ管理計画の改訂の基礎資料となる生息状況調査のほか、クマ出没件数が多い地域における緩衝帯整備や電気柵設置への支援、河川の伐木や草刈りなどの生息環境管理の実施に加え、市町村が取り組むクマ対策への支援を考えている。

(3) ニホンザルによる被害防止や人身の安全確保のため、捕獲の強化に取り組むべきと考えるが、今年度の事業成果と今後の対策方針について問う。

ポイント!

昨年までの報告では、ニホンザルの農作物被害は、年々減少しているとのことだったが、被害額に現れない家庭菜園などの自家消費のための作物や、作付けを諦めてしまった畑で本来収穫できるはずだった額も加えれば、相当の被害額になることが予想される。

答 (生活環境文化部長)

ニホンザルの被害防止対策として、今年度は、加害群が確認されている9つの市町を対象に、受信機を有効活用し捕獲やパトロールに取り組んでいただいている。

今年度、ニホンザルによる人家周辺の生活環境への被害は、①家庭菜園での野菜・果樹などの食害、②屋根瓦・網戸などの破損、③人に対する威嚇・取り囲みなど、1月末時点で367件と、既に昨年度の259件を上回り、引き続き増加傾向にある。

このため新年度では、新たに特に大きな生活環境被害や農作物被害を起こしている群れを対象として、その群れの正確な個体数の調査に取り組みたいと考えている。

(4) 有害鳥獣捕獲の担い手不足や高齢化が進むなか、人材の確保・育成が急務と考えるが、今後の取り組みについて問う。

ポイント!

個体数の調整、捕獲の担い手の確保に向け、長期的な視点で、若い世代の狩猟免許の取得促進や訓練用の射撃場の整備などの環境整備も必要となる。

答 (知事)

県では県猟友会等と連携して捕獲の担い手の確保・育成に積極的に取り組んできた。狩猟免許所持者を増やすため、①試験回数を従来の年1回から平成19年度に2回、平成26年度に3回と順次増やすとともに、②狩猟の魅力を紹介するガイダンスや、③初めて狩猟免許試験を受験する方を対象とした講習会を開催するなどの取り組みを行ってきた結果、平成18年度に876人まで減少した狩猟免許所持者数は令和5年度には1,427人まで回復した。

また、狩猟免許保持者は、高齢者の割合が高く、後継者の確保も課題となっている。新年度においては、主に40代未満の方々を対象として狩猟に興味を持ってもらうため、新たに狩猟体験イベントを開催するなど、若い世代の狩猟免許の取得促進につなげたい。



問3 ブランディングの推進について

(1) 「都道府県魅力度ランキング」など、本県のブランド力に関する調査の結果について、県としてどのように受け止めているのか、また、さらなる上位を目指して今後の取組みは。

ポイント!

ブランド総合研究所による「都道府県魅力度ランキング2023」では、本県は22位と全国中位となった一方、リクルートによる「じゃらん宿泊旅行調査2023」の「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」という項目では、2年連続の3位となっている。

答 (知事政策局長)

「都道府県魅力度ランキング」などでは全国中位が続いており、本県の魅力が十分に伝わっていないのが現状である。本県の認知度を向上させるためには、本県のキラコンテツである魚介類を最大限に活用しながら、農林水産物、お酒、工芸品など幅広い富山の食、楽しみながら食べるという「こと消費」にも結び付けることができる「寿司」に焦点を絞り、他の都道府県に先駆けて、一点突破で本県の魅力を発信している。県外の方に「寿司」を入口として、富山の自然環境、歴史・伝統文化、食文化などを知り、関心を持ち、富山の魅力に触れていただくことで、様々な民間の調査等でも評価いただけるよう、民間事業者との連携、関連業界の活性化、幅広い県民の皆さんの巻き込みなどに取り組み、県のブランド力向上につなげていきたい。



(2) 「寿司といえば、富山」のブランディングの推進に向け、「とやま県民家庭の日」である毎月第3日曜日に家族で寿司を食べ、富山の食文化に触れる機運の醸成を図るとのことであるが、この運用にあたっては、リピートや国内外への発信につなげていく工夫も必要ではないか。

ポイント!

寿司屋の土日のさらなる混雑につながることも心配される。第3日曜日に限定せず、また、食後にレシートを貼って申し込めば、抽選で寿司券がもらえるなどの制度設計にすれば、リピートや国内外への発信の面での効果も期待できる。

答 (知事政策局長)

新年度、ファミリー層をメインターゲットに、お年寄りから子どもまで幅広く家族が集まりやすい日曜日、毎月第3日曜日に設定されている「とやま県民家庭の日」に合わせ、多くの県民のみなさんに多様な「寿司」に触れていただくキャンペーンを、様々な民間の皆さんと連携して展開したいと考えている。

現在、具体的な運用について検討を進めているが、県民の皆さんに繰り返しお店に行っていただくとともに、県外の方も参加しやすい仕掛けも大事だと考えている。議員ご提案の手法をはじめ、より多くの皆さんに参加いただけるよう、実施内容や情報発信に工夫を凝らしてまいりたい。





ブランディング委員会うどん県視察



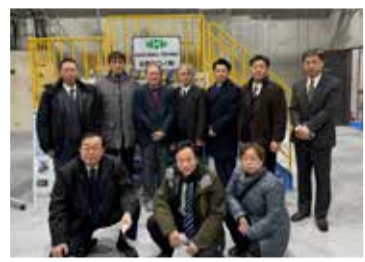
ボーイスカウトクリスマス会



大沢野ドリームベース完成式



東部議連でキャニオンルート視察



富山大学高岡キャンパス視察



富立大橋4車線化開通式



防犯パトロール隊研修会



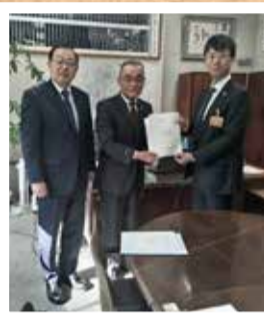
山田川水系河川現地調査



長野県建設部長と懇談



松野そば祭り



船峯自治振興会要望



身障者協会総会



富山大学生との意見交換



南商工会総会

井上学の主な活動

- | | | | |
|--|---|---|---|
| <p>11月
 2日 県自然保護課打合せ
 3日 富山南防犯協会打合せ
 5日 細入まつり
 八木山地区県政報告会
 6日 県漁連との意見交換会
 7日 富山市市政懇談会
 地方議員連絡協議会総会
 8日 県自然保護課打合せ
 10日 富山南防犯協会打合せ
 11日 秋の消防総合訓練
 県庁バレー部OB会
 12日 城山中学校若竹会
 13日 農業問題調査会役員会
 16日 ブランディング推進特別委員会視察
 (～17日)
 18日 富山県ポート協会50周年式典
 20日 決算特別委員会
 21日 船峯自治振興会要望
 富山南商工会商工懇談会
 23日 消防殉職者慰霊祭
 24日 山田川水系河川改修協議会現地調査
 25日 古里小学校創立150周年式典
 高内自治会役員会
 27日 地方創生産業委員会
 28日 11月定例会開会・議員総会
 決算特別委員会総会質問
 29日 南防犯協会打合せ
 30日 代表質問
 12月
 1日 山村振興予算説明会
 防犯パトロール隊出発式
 2日 第二選挙区役員会</p> | <p>3日 高内白山社大祓
 4日 一般質問1日目
 県商工会連合会意見交換会
 6日 一般質問2日目
 7日 上婦負自治振興会懇談会
 8日 予算特別委員会1日目
 9日 粟巣野スキー場安全祈願祭
 大沢野パークゴルフ協会納会
 11日 農業問題調査会知事要望
 12日 予算特別委員会2日目
 13日 地方創生産業委員会
 澤田市議市政報告会
 14日 採決・議員総会・常任総務会
 16日 水新建設忘年会
 18日 北陸電気工業打合せ
 19日 政調会勉強会
 県都市計画審議会
 20日 南防犯協会打合せ
 党大沢野支部総務分会長会議
 21日 地方創生産業委員会視察
 立山山麓温泉開発総会
 24日 ボーイスカウトクリスマス会
 26日 年末挨拶
 1月
 1日 令和6年能登半島地震発生
 3日 小見町内会、亀谷町内会新年会
 4日 新年挨拶回り
 7日 大沢野地域二十歳の集い
 大沢野地域建築組合新年会
 10日 議員総会・地方創生商工部会
 11日 南防犯会長副会長会議
 12日 党大沢野支部決算役員会
 13日 塩地区打合せ</p> | <p>17日 県選管打合せ
 18日 大沢野細入商工同友会懇談会
 19日 党支部総務分会長会議
 20日 大沢野地区防犯組合安全祈願祭
 大沢野地区自治振興会新年会
 21日 横樋町内会新年会
 22日 議員総会・政調会勉強会
 第二選挙区県議団会議
 24日 観光振興議連勉強会
 商工会大沢野細入支部新年会
 25日 富山地区海洋防災土木協議会打合せ
 26日 大沢野地域自治振興連絡協議会新年会
 28日 党大沢野支部定期大会
 31日 議員総会・常任総務会
 2月
 3日 常任総務会・支部長幹事長事務局長会議
 4日 横山栄氏叙勲祝賀会
 6日 長野県建設部長意見交換会
 5日 富山市役所打合せ
 8日 政調会
 9日 県選管打合せ
 10日 議員総会、臨時議会
 11日 松野地区そば祭り
 12日 南警察署18歳成人の集い
 14日 長附地区打合せ
 15日 ブランディング対策特別委員会
 議員総会・政調会勉強会
 16日 〆-〆-以勉強会
 大沢野土改打合せ
 17日 党大支支部定期総会
 18日 高内1区総会
 21日 地方創生産業委員会
 23日 上二杉地区県政報告会</p> | <p>26日 議員総会・2月定例会開会
 28日 代表質問・政調会勉強会
 3月
 1日 一般質問1日目
 2日 大沢野ドリームベース完成内覧会
 3日 村椿市長事務所開き
 福沢自治振興会総会・杉本正氏叙勲祝賀会
 4日 党県連打合せ
 5日 一般質問2日目
 6日 南防犯協会打合せ
 富山地区県庁OB会総会
 7日 一般質問3日目
 9日 第2選挙区役員会
 10日 党細入地区総会
 11日 予算特別委員会1日目
 13日 予算特別委員会2日目
 14日 南防犯協会会長副会長会議
 15日 予算特別委員会3日目
 16日 大沢野大山身障者協会総会
 榊苗清吉氏叙勲祝賀会
 17日 高内自治会、下大久保自治振興会総会
 18日 DX研修会
 19日 総括質問
 20日 党支部総務分会長会議
 21日 地方創生産業委員会
 22日 採決・副議長就任記者会見
 23日 富立大橋4車線化完成式典
 上新川野球協会総会
 26日 南防犯協会常任理事会
 27日 県内就任挨拶回り
 29日 議会事務局辞令交付式</p> |
|--|---|---|---|

主な役職

<県議会>

ブランディング対策特別委員会 副委員長
 地方創生産業委員会 委員
 富山県都市計画審議会 委員

<自民党>

県連財務委員長
 政調会地方創生商工部会員
 富山県第2選挙区支部 幹事長代行
 上新川郡連 支部長
 大沢野支部 支部長

<議員連盟>

日台友好、観光振興、拉致、砂防推進、山村振興、スポーツ振興、東部活性化、スカウト、看護、商工会 など

<自民党調査会>

農業問題、雇用問題、医療問題、水産問題、中山間振興、人口減少 など

<各種団体>

・富山県ポート協会 会長
 ・富山市ポート協会 会長

・富山南防犯協会 会長
 ・上新川野球協会 会長
 ・富山県立中央農業高校教育後援会 会長
 ・富山市第10団ボーイスカウト育成会 会長
 ・大沢野地区自治振興会 相談役
 ・大久保地区自治振興会 相談役
 ・大山地域自治振興会連合会 相談役
 ・富山南交通安全協会 顧問
 ・大沢野体育協会 顧問
 ・大沢野ゴルフ連盟 副会長
 ・富山カントリークラブ 理事 など

プロフィール

誕生日／昭和33年8月20日
 婦中町羽根川口生まれ

古里小学校・城山中学校・富山中部高校・新潟大学農学部卒業
 昭和56年／富山県庁入庁
 平成26年／農村振興課長で富山県庁退職
 平成27年／富山県議会議員初当選
 平成31年／富山県議会議員2期目当選
 令和5年／富山県議会議員3期目当選

連絡先

【富山県議会自民党控室】

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 TEL 076(431)5244
 FAX 076(441)8421

【事務所】

〒939-2254 富山市高内52-7(旧大沢野町)
 TEL 076(467)2359 FAX 076(403)2620
 携帯 090-9767-1098
 ホームページ hppt://www.inoue33.net/
 E-mail gaku2014@yahoo.co.jp

県議会の詳しい様子は、富山県議会のホームページでご覧いただけます。

富山県議会 <http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/>

■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけ下さい。